

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調
DIがマイナスなら……悪化、下降基調

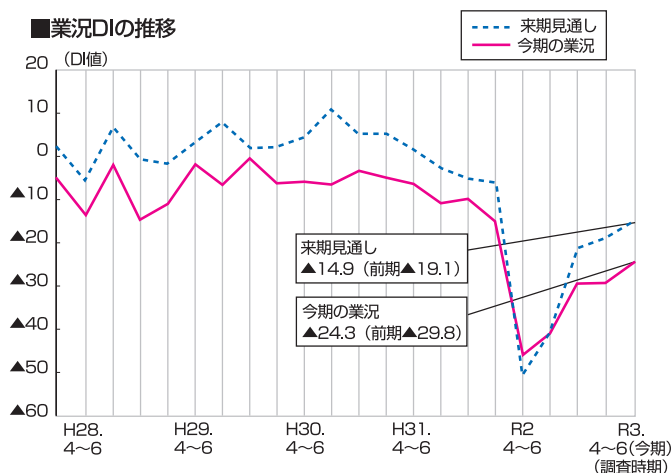
記号の見方

DI値	-25以下	-25~-10P未満	-10~-10P未満	10~25P未満	25以上
景況	特に悪化 ↓	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↑

鹿児島商工会議所 景況調査

調査期間 令和3年4~6月
回答企業数 151社

■業況DIの推移



■産業別DI値表

		前期 [2021.1~3] (A)	今期 [2021.4~6] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [2021.7~9]
業況	全産業平均	▲29.8	▲24.3	5.5	▲14.9
	製造業	▲36.0	▲29.0	7.0	▲16.1
	建設業	▲30.0	▲40.0	▲10.0	▲20.0
	卸売業	▲5.0	0.0	5.0	0.0
	小売業	▲36.4	▲31.0	5.4	▲30.0
	サービス業	▲37.0	▲20.4	16.6	▲8.2
売上額	全産業平均	▲41.9	▲24.5	17.4	▲13.3
	製造業	▲52.0	▲29.0	23.0	▲6.7
	建設業	▲38.1	▲42.9	▲4.8	▲23.8
	卸売業	▲9.5	▲5.3	4.2	0.0
	小売業	▲56.5	▲22.6	33.9	▲29.0
	サービス業	▲48.1	▲22.4	25.7	▲8.2
資金繰り	全産業平均	▲15.0	▲12.0	3.0	▲9.3
	製造業	▲21.7	▲22.6	▲0.9	▲22.6
	建設業	▲10.0	▲15.0	▲5.0	▲14.3
	卸売業	▲4.8	10.5	15.3	16.7
	小売業	▲22.7	▲19.4	3.3	▲19.4
	サービス業	▲14.8	▲8.2	6.6	▲2.0
採算	全産業平均	▲26.3	▲23.0	3.3	▲20.7
	製造業	▲48.0	▲25.8	22.2	▲12.9
	建設業	▲19.0	▲38.1	▲19.1	▲38.1
	卸売業	0.0	11.1	11.1	10.5
	小売業	▲43.5	▲30.0	13.5	▲35.5
	サービス業	▲16.0	▲22.9	▲6.9	▲20.8

今期業況はわずかに改善するも、来期も厳しい見通しが続く

【今期(令和3年4~6月期)の業況】
全産業の業況DI値は、▲24・3
(前期比プラス5・5ポイント)で、
産業別に見ると、建設業のみ悪化した
ものの、その他の業種ではわずかに改
善がみられた。

【来期(令和3年7~9月期)の見通し】
全産業の来期見通しは、▲14・9
(前期時の来期見通しと比較してプ
ラス4・2ポイント)と、前期から
やや改善したものの、依然として厳
しい見通しが続いており、特に小売
業ではより厳しい見通しとなってい
る。

【今期の売上額・資金繰り・採算】
全産業の売上額DI値は、▲24・
5 (前期比プラス17・4ポイント)
で、建設業を除き改善がみられた。
全産業の資金繰りDI値は、▲
12・0 (前期比プラス3・0ポイン
ト)で、ほぼ横ばいとなったが、卸
売業のみDI値がプラス値に転じ改
善がみられた。

全産業の採算DI値は、▲23・0
(前期比プラス3・3ポイント)で、
ほとんど変わらなかったが、業種に
よって採算の確保に差異がみられた。

【回答企業のコメント】
・ 感染対策にかかる費用や時間、人繰
りなど課題は多い。(製造)
・ コロナの影響が長期化しており、当
面の需要や売上の回復は期待し難
い。(建設)
・ コロナの影響で、イベント開催と
いった販促活動が思うように出来
ない。効果的な情報発信方法を模索
中。(卸売)
・ 外出自粛により来店客数が減少し、
購買意欲も低下しているように感
じる。(小売)